

—あなたがいないと成り立ちません—

頑張る姿、元気な笑顔！

「広報かわまた」の**主役**は、
なんといっても、町の**みなさん**です。

のイベントや行事などを取材させていただいています。
その中でもいつも感じることは、川俣町には、町の発展、元気つくりのために、頑張っている人がたくさんいるということです。
取材を通して、みなさんの想いに触れさせていただき、こちらが勇気づけられ、元気をもらうことが度々あります。
そして、みなさんが心の中に抱えている強い想いを、紙面上ですっきりと町民のみなさんにお伝えすることが、「広報かわまた」

の役割であると思います。
そういった意味で、「広報かわまた」は、あくまでも情報をお伝えする手段であり、主役はなんといっても、川俣町でいきいきと暮らし、輝きながら活動している町のみなさんなのです。
そして、町の未来である子どもたちの元気いっぱいな笑顔も、「広報かわまた」には、欠かすことのできない大切なものです。
これからも、町民のみなさんが頑張る姿、子どもたちの元気な笑顔をたくさん掲載していきますので、ぜひ「広報かわまた」を、楽しみにしてください！

広

報かわまたの担当者は、広報紙作成のため、毎月、町

の役割であると思います。
そういった意味で、「広報かわ

▲ 700 号ということで川俣幼稚園の仲間に 7 月号を持ってもらいました。

あれから **8 年がたちました！**



2008 年 2 月号 (601 号) の表紙に登場していた
佐藤義男さん (28 歳・秋山)



ココです！

今回、久しぶりに広報かわまた 601 号を拝見させていただきました。掲載されていたのは福田の「新成人 金婚さんを祝う会」の一場面ですが、20 歳の自分を今見ると、ちょっと恥ずかしく、懐かしい感じがします。あれから 8 年、その間、本当に色々な事がありましたが、現在は JA 新ふくしま燃料(株)福田給油所で働いています。特に東日本大震災の際、給油するために多くのお客さんが列を作って、給油所の前に並んでいた光景が忘れられません。そして、そのような混乱している状況だったにも関わらず、地元のたくさんの方から「よしお、大変だけど頑張れよ！」と声をかけていただいたことに感激し、より一層地元が好きになりました。しかし、川俣町も、まだまだ震災前のような元気な状況を取り戻せているわけではないと感じます。広報かわまたが 800 号になるのは、8 年後ですが、その頃には、町が震災前以上に元気になっているといいなと思います。私も、もっと会社に、そして社会に貢献できる人間になれるよう頑張ります！

600号からの 広報かわまた をご紹介します。



第619号
2009年8月号
「がんばる夏休み」と
題し、子どもたちの
夢を掲載。



第614号
2009年3月号
山木屋スケートリンクを訪れた三宮恵利子さんを掲載。



第609号
2008年10月号
22m7cmの世界記録達成。
世界一長い焼き鳥選手権を掲載。



第600号
2008年1月号
新春特別企画として、
町長を囲む新春座談会を実施し、掲載。



第641号
2011年6月号
有名漫画家が多数来町した「いらっしやい、川俣町。」を掲載。



第639号
2011年4月号
川俣町を突然襲った東日本大震災の被害について掲載。



第631号
2010年8月号
旬を感じながら生活できる農業の魅力について掲載。



第626号
2010年3月号
合併55周年。55年のあゆみや、昔懐かしい写真を掲載。



第672号
2014年1月号
近大サツマイモを使った富田小学校のお菓子作りを掲載。



第664号
2013年5月号
原発事故の風評を払しょくしていく川俣シャモの元気を掲載。



第654号
2012年7月号
私たちの心を動かす山木屋太鼓の歴史と魅力について掲載。



第643号
2011年8月号
「農業に投げかけられた波紋」伊達市、桑折町、国見町との合同企画を実施。



第698号
2016年3月号
5年ぶりに復活した山木屋田んぼリンクのようすを掲載。



第693号
2015年10月号
関東・東北豪雨による町内の被害状況を写真とともに掲載。



第687号
2015年4月号
森の案内人に特別な里山の楽しみ方を教えてもらい、掲載。



第677号
2014年6月号
川俣絹布精練(株)創業者「忽那惟次郎」物語を掲載。

みなさん、これからも「広報かわまた」を、
どうぞよろしく願ひいたします。